



### 人は城

「人は城、人は石垣、人は堀」という言葉があるように、人材はいかに大事かを示している。

病院を支えるのは、人(職員)である。職員は支える力をつけてもらいたい。私共には人材育成の務めがある。

院長 小川 洋史

写真：いなべ市農業公園（三重県）（撮影：小川 洋史）

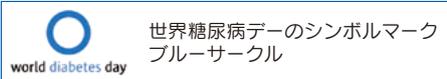
## 世界規模での糖尿病対策

新生会第一病院 糖尿病・内分泌内科医師(月・火曜日外来担当) 西井 裕和

### 世界規模での糖尿病への取り組み

糖尿病は患者数が非常に多く、国民病と称されるほどです。糖尿病患者数の増加は、日本国内だけに限った話ではなく、世界規模でも、その増加は止まることを知りません。糖尿病の脅威が世界的に拡大しているのを受け、糖尿病に対する注意を喚起しようと、国際糖尿病連合(IDF)と世界保健機関(WHO)によって世界糖尿病デーが1991年に制定されました。2007年には国連決議で採択され、正式な国連デーとなりました。毎年、インスリンの発見者フレデリック・バンディングの誕生日である**11月14日**に、IDFと加盟組織が中心となり、**世界糖尿病デー**が開催されています。

### 世界糖尿病デーとは



11月14日を中心に、200以上の国や地域で、市民向けの講演や糖尿病教室、無料の糖尿病の検査が開催され、糖尿病の早期発見と治療の継続の大切さが呼びかけられます。また医療スタッフや患者さんをはじめとする糖尿病ケアに対し実行力のある人々が、糖尿病についてより良く理解し、糖尿病をコントロールしていく必要について、インターネットを通じ世界中に呼びかけています。

80以上の国の1,000カ所以上で、有名な建造物が世界糖尿病デーのシンボルマークである「**ブルーサークル(上)**」と「国連を象徴する色」ブルーにライトアップされます。**ブルーライトアップ**の目的は、ブルーサークルの認知を草の根運動で高め、糖尿病への対策が世界的に求められていることを訴えることです。

日本でも、日本糖尿病学会と日本糖尿病協会の「世界糖尿病デー実行委員会」が中心となり、全国各地で関連イベントや全国の約90カ所の著名な建造物のブルーライトアップを開催しています。この映像はインターネット上で見る事ができます。



ブルーライトアップされた名古屋城

#IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY #IOSPY

## 未来の血糖測定器

### 持続グルコース測定(CGM)

インスリン治療(自己血糖測定)、内服治療(HbA1c測定)どちらの治療であっても、1日を通しての血糖推移を把握することが、適切な医療介入を可能とし、より良い血糖コントロールをもたらすと考えられます。

上記目的のために腹部などの皮下組織に専用のセンサーを装着し、連続的に皮下の組織間質液中のグルコース濃度を記録していく検査方法です。最近では、機器本体が小型化・防水化され、測定中の機器操作も不要となり、機器を体につけたまま病院から帰宅し、入浴を含む日常生活を送ることができるまでになりました。

写真は日本メドトロニック社が2012年3月に発売したCGM装置メドトロニック iPro2です。写真左下の装置がレコーダーと呼ばれる装置で、普段はこれを装着し血糖値を10秒毎に測定し、5分間の平均値が記録されていきます。7日間連続で記録することができ、レコーダーを取り外して、写真右上のドックに接続すると、記録された7日間分の連続した血糖値がパソコンに転送されます。大きさは、幅3.5cm、長さ2.8cm、高さ0.9cmと小さく、重さも5.7gしかありません。

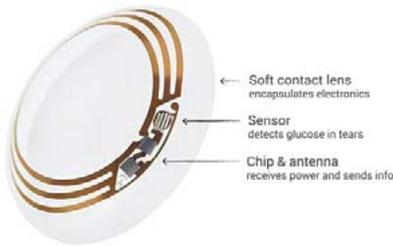
今はまだ大学病院や研究目的などの限られた場面でした使われることの少ないCGMですが、今後、より一般的な使用ができるようになるかと期待されています。



### スマートコンタクトレンズ

2014年1月に検索最大手の米Googleは、目に装着するだけで血糖値を測定できるスマートコンタクトレンズの試作品を完成させたそうです。

その仕組みは、薄いコンタクトレンズ2枚の間に、超薄型のグルコースセンサーと無線チップを埋めこみ、涙液の血糖値を測定することです。またこのコンタクトレンズにLEDを埋め込み、高血糖や低血糖が起きたら、LEDが光って、目に直接異常を知らせることができるそうです。現在、動物実験では、1秒毎の血糖値を測定し、良好な実験結果が得られているそうです。非常にSF的な話しに思えますが、近い将来、糖尿病患者さんはコンタクトレンズを装着するだけで、痛い思いをせずに血糖測定ができる日が来るのかもしれませんが。



## 糖尿病療養指導士の活動報告

糖尿病療養指導士 松田はるみ

当院の糖尿病療養指導士は看護師・管理栄養士・理学療法士で8名います。私達糖尿病療養指導士は【新生会糖尿病透析予防診療チーム】の中で糖尿病専任医師・薬剤師・保健師などとチームを組んで活動しています。

2013年度、糖尿病療養指導士の活動は『糖尿病教室』を5回計画し開催しました。延べ58名の患者・家族に参加していただき盛況でした。講義や交流会は、新生会第一病院の基本方針でもある「アットホームな病院を目指す」を念頭におき和気あいあいとした雰囲気の中で行われました。参加者からは「糖尿病に対する知識や日常生活の過ごし方が解り易かった」と好評でした。(写真)

来年度は、更に『糖尿病教室』に気軽に足を運んで頂けるような講義内容にしたいと考えています。



糖尿病教室の風景



## 運動機能評価入院のご案内

新生会第一病院 リハビリテーション科 久野 義直

今の運動で大丈夫ですか？当院では昨年の7月より透析患者さんを対象に運動機能評価入院を開始しました。医療の進歩により透析患者さんの高齢化は進行しています。また長期透析患者さんも増加傾向にあります。一般的に健常者と比べると透析患者さんの筋力や骨密度、あるいは高次脳機能は何倍も低下しやすいと言われています。言葉を変えると自分が感じる速度の何倍も速く身体機能が低下していると言えます。皆さんは適切な運動をしていればそれを食い止める事ができたとしても運動をやらないままでいますか？私たちリハビリテーション科のスタッフが入院患者さんと最初にお話してリハビリに対する希望をお伺いすると、ほとんどの方が「またもとのように自分で歩けるようになりたい」と仰います。そして入院前の何倍もの時間をかけて運動を行い、退院されていけます。退院できればまだ良いですが、住み慣れた我が家には戻れずそのまま転院や施設に行かれる方もみえます。



どうすれば皆さんが自分らしい生活を送れるか考えましたが私たちができることはリハビリテーションのみです。孫子の言葉に「敵を知り己を知れば百戦殆うからず」とあります。まずは筋力低下や転倒等の危険因子などを十分知り、自分の身体機能がどの程度なのかを理解してそれに対する運動を継続することで少しでもいきいきとした透析生活を支援するのが私たちの切なる願いなのです。

### 【運動機能評価入院の内容】

1. 運動機能評価の結果から身体的、認知的分析を行い患者さんの現状を把握して一人一人にあった運動プログラムを作成します
2. 実際に運動を行い退院後も患者さんが継続して運動できるよう指導します
3. 評価や指導した内容を各透析施設に伝えますので患者さんの状態が数値的かつ継続的に理解できます
4. 入院中に運動だけではなく、栄養指導も行います

## 通院透析患者家族のつどい 血液浄化センター 看護師 林 昭希

2013年11月26日に血液浄化センターでは、通院透析者を支える家族同士で話せる場作りとして『家族のつどい』を開催しました。事前アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今回、6家族の方に参加いただく事ができました。管理栄養士による下記のような講義を聞いていただき、その後の交流会では家族の方から日常生活の過ごし方を聞き、「テレビばかり見ている」という方には運動療法についての情報提供をしたり、家族同士が思いや同じ悩みを語り合い、それに対する対応策や工夫等を楽しそうに話されていました。今後も、血液浄化センターでは交流会を継続的に実施していきますので、日頃工夫していることやお悩み等を語りに、是非ご参加ください。

2013年11月26日 14:00~15:30 第1会議室  
出席者：家族6名、看護師3名、ケースワーカー、管理栄養士  
講義：「リン カリウム 塩分 水分制限のなかでの低栄養予防」  
管理栄養士 平賀 恵子  
交流会：家族と医療者を交えて語り合い



# 2013年度 患者・家族・地域の方に行った活動

当院では、年間33回下記のような催しを行いました。

開催日	内容	主催	参加人数(人)
2013年4月1・2日	病棟花見「春の風を感じよう」	2・3階病棟	21
4月27日	書道	2階病棟	13
5月25日	糖尿病教室	糖尿病透析予防診療チーム	11
5月29日	神経衰弱ゲーム	2階病棟	10
6月27日	七夕短冊作り	2階病棟	17
6月29日	腎臓病教室	外来	17
7月24日	間違え探し	2階病棟	12
7月27日	糖尿病教室	糖尿病透析予防診療チーム	16
8月29日	釣りゲーム	2階病棟	15
8月31日	腎臓病教室	外来	21
9月21日	オープンセミナー 認知症①	患者サービス推進委員会	37
9月25日	秋の歌会	2階病棟	17
9月28日	糖尿病教室	糖尿病透析予防診療チーム	15
10月19日	腎臓病教室	外来	9
10月24日	紅葉祭り	2階病棟	16
11月3日	やとみ福祉まつり	患者サービス推進委員会	22

開催日	内容	主催	参加人数(人)
11月10日	秋の大運動会	2階病棟	21
11月10日	家族交流会	2階病棟	6
11月26日	通院透析患者 家族のつどい	浄化センター	6
11月27日	口の体操DVD・迷路ゲーム・歌	2階病棟	13
11月30日	糖尿病教室	糖尿病透析予防診療チーム	6
12月1日	HHD交流会	教育センター	19
12月7日	家族交流会	十全クリニック	9
12月14日	腎臓病教室	外来	21
12月14日	CKD家族の会	外来	2
12月21日	病棟クリスマス会	患者サービス推進委員会	16
2014年1月25日	糖尿病教室	糖尿病透析予防診療チーム	9
1月29日	書初め	2階病棟	10
2月1日	オープンセミナー 認知症②	患者サービス推進委員会	49
2月22日	腎臓病教室	外来	7
2月22日	CKD家族の会	外来	2
2月26日	ひな祭り人形作成	2階病棟	8

## 病棟のイベント



## 糖尿病教室



## 腎臓病教室



## 患者サービスのイベント



## 家族の会・交流



## 新生会第一病院 一般外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
一般内科	午前	○	○	/	○	○	○
腎臓内科		○	○	/	○	○	○
リウマチ科/整形外科		○	○	/	○	/	○
糖尿病内科/内分泌科	午後	○	○	/	○	○	/
リハビリテーション科	※	○	○	/	○	○	○

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) / 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)  
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病内科の日に、糖尿病栄養外来、糖尿病看護外来実施  
◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科、透析ベッド 46 床、午前の部、午後の部あり

### 新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052)832-8411 FAX (052)832-9063

ホームページ <http://www.hospo-shinseikai.org>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくとも受付けますので来院ください)

